学校番号	２０２

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習α	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「よくわかる高校数学Ⅰ・A」　Gakken						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は主に，問題演習を行います。授業で使うノートを用意してください。
・授業に向けて、予習を行ってください。授業は「予習してきた問題の解説を聞く→解説を基に自分で問題を再度解く→確認をする」という流れで行います。問題を再度解く際には，自ら考え、周りの人と協働で考える活動をします。
・家庭学習では，予習として、問題集の問題をまず自分で解いてみよう。途中式や考え方も書いてください。その後，必ず答え合わせをしてください。間違った問題は放っておくのではなく，必ずノートなどにやり直しをしましょう。自力で解けるまで，何度でもやり直してください。
・考査ごとを目安に問題集などの課題を課します。しっかり学習し，提出してください。

2　学習の到達目標

数学Ⅰ＋A の内容を理解し、看護医療系に必要な知識等を身に付けるとともに、各分野の問題の解法を理解し、自ら解答できるようになるまで、反復して、学習に取り組む態度を養い、次の資質・能力を身に付ける。

（１）　数学Ⅰ＋A の内容についての基本的な概念や原理や法則を理解し、事象を数学的に捉え、表現、処理する技能を身に付ける。
（２）　数学Ⅰ＋A の内容について、事象を数学的な考え方で分析したり、表現する。
（３）　数学的な考え方のよさに気づき、自らの思考過程を振り返りながら、粘り強く問題解決に取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ⅰ＋A の内容における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。また事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学Ⅰ＋A の内容における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学Ⅰ＋A の内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	整式とその計算	a: 各学習内容における基礎基本となる公式を理解し、問題を解答することができる。 b: 各学習内容における応用問題や発展問題を解答するため、求め方の過程を理解し、表現することができる。 c: 受験のための問題演習に対して、主体的に問題に取り組もうとする態度がある。また、反復して問題に取り組む態度がある。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 問題集	観察 ワーク シート
		因数分解				
		実数と平方根				
		式の値				
		1次方程式と1次不等式				
		絶対値記号を含む方程式・不等式				
		集合				
		命題の真偽、必要・十分条件				
		逆・裏・対偶と証明				
	2次関数	2次関数とグラフ				
		2次関数の最大・最小				
		2次関数の決定				
		2次方程式				
		2次関数と2次方程式				
		2次関数と2次不等式				
		いろいろな最大・最小問題				
		2次方程式の解の配置				
		絶対値記号を含む関数				
	図形と計量	三角比の値				
		三角比の相互関係				
		正弦定理と余弦定理				
		三角形の面積				
		空間図形への応用				
2学期	データの分析	データの分布と代表値	a: 各学習内容における基礎基本となる公式を理解し、問題を解答することができる。 b: 各学習内容における応用問題や発展問題を解答するため、求め方の過程を理解し、表現することができる。 c: 受験のための問題演習に対して、主体的に問題に取り組もうとする態度がある。また、反復して問題に取り組む態度がある。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 問題集	観察 ワーク シート
		データの散らばりと箱ひげ図				
		分散と標準偏差				
		データの相関				
	相似と軽量					
	場合の数と確率	集合の要素の個数				
		和の法則と積の法則				
		順列				
		組合せ				
		確率とその基本法則				
		独立試行と確率				
		条件つき確率				

	図形の性質	三角形の辺と角				
		三角形の重心・内心・外心				
		円の性質				
	整数の性質	約数と倍数				
		最大公約数・最小公倍数				
		整数の割り算と商・余り				
		ユークリッドの互除法と不定方程式				
		整数の性質の活用				
3学期	総合問題		a: 総合問題における基本問題を解答することができる。 b:総合問題における応用問題や発展問題を解答するため、求め方の過程を理解し、表現することができる。 c: 入試問題演習に対して、主体的に問題に取り組もうとする態度がある。また、反復して問題に取り組む態度がある。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト 問題集	観察 ワーク シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度